

竹村ほまれ 後援会だより

2013/01/20 No007

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ: [竹村ほまれ](#) と入力し検索を

新年おめでとういけいけいけい

昨年を振り返りますと、春先の不安定な気象に夏の高温少雨の猛暑、秋に綺麗な紅葉時期がありました、寒い冬を迎え不安定な一年を過ごしました。国政でも混迷を続けた民主党政権が敗北し、民意を反映しない選挙制度のもとで自民党政権が誕生し際限のない財政赤字や格差の拡大、平和憲法を覆す危険な路線が心配されるどころです。

二〇一三年が平和な社会になる様、市政の立場でも力を尽くす所存です。

二〇一三年 一月 ほまれ



公共交通の危機

「こまバス廃止」と「駒ヶ根駅員」廃止!

昨年、駒ヶ根市は相次ぐ公共交通に関連した話題が物議を醸し、現在も熱い論議がされています。

・一つ目は昨年の九月に市より提案された「こまちゃんバス廃止」を含めた公共交通見直し提案です。

・二つ目は十一月にJR東海より出された、駒ヶ根駅を含む飯田線駅員の廃止通達です。

こまちゃんバス廃止を含む見直し案

9月・12月議会でも取り上げて奮闘

特に「こまバス廃止を含む見直し」に関しては「竹村ほまれ市議」も利用者や市民の意見を聞く中で9月議会と12月議会の2回に亘って、問題点や課題を取り上げ市側の態度を質してきました。

こまちゃんバス延長や

デマンド増便を検討

街部から離れた竜東地区、特に東伊那区の見直し案への関心は非常に高く、「バス」存続にかける熱い思いや、拙速すぎる制度移行への不満や運動もおこる中で、利用者に配慮した施策が段階的に取り上げられてきています。それらはデマンドタクシー導入や、利用者に配慮した広報等の施策、バス延長も含めた並行運行の検討やデマンドタクシーの運行回数増便検討などに表れています。

区民の熱意に

市議も市長も応えて

東伊那支所における説明会では、見直し案に戸惑いや不安を拭いきれない出席者からは、参加していた「竹村ほまれ市議」と地元の「伊東正人市議」に対し、説明会での実態を市長に話し、市長と直接懇談出来る場を設けて欲しいとの要請にこたえて急遽市長を交えての意見交換会が14日に実現しました。大雪の降る中、25名の参加者が市長と忌憚ない意見交換がされ前進につながっています。

中沢区での崩落災害

年が明けて15日の未明に中沢区中割の、蔵澤寺北東側付近で崩落災害がありました。原因は農業用水路（新井）が大雪による積雪後の雪や氷などで堰き止められたため水が溢れ出し、のり面上にプールされた水が地盤の弱かった土手を崩落させたようです。

被害は幅・高さとも20m、市道をのり越え崩落した土砂や樹木はさらに200mも滑り落ちて凄まじいものでした。幸い、通行人や人家への被害はなく、交通への影響も少ない道だったので不幸中の幸いでした。

現在、市農林課を主体とし復興手立てが図られています。



土砂で散乱する崩落現場

裏面に続く

「竹村ほまれ」の12月議会一般質問要旨

12月議会は、15人の議員の内10人が質問に立ちました。総選挙と重なる忙しい議会でしたが、一般質問は、住民の願いや、要求の実現を目指し、市政を前に進めるための欠かすことのできない責任と位置付け、努めてまいりました。

竹村ほまれ議員の質問

① 他業種の見守りで孤立死防止を

看取られずに亡くなられる「孤独死」の方や、社会から取り残される「孤立死」の訃報が社会問題となっている。当市も他人ごとではなく現在の孤独死の実態と、先進地にも学んで他業種を巻き込んだ日常的な見守りを充実していくことが求められますが、具体的な方策は。

杉本市長の答弁

通報頂く仕組みをつくる

孤立死 孤独死は今のところ出ていませんが、水道ガス関係の事業所と見守りの協力体制が確立し、電力事業者とは調整中です。他団体の事業所として新聞の販売店やクルト郵便局ガソリンスタンド 金融機関 コンビニの協力で何か事があれば通報頂く仕組みをつくっている、地域住民の見守りも合わせる中で体制整備をしていきたい。

竹村ほまれ議員の質問

② バス廃止提案

デマンドタクシーは

「まちちゃんバス」廃止提案以降、一般質問や利用者、市民の意見要望を聞く中で、今回追加提案されたデマンドタクシーだが、今回の施策、デマンド+福祉割引タクシー券等)をしても、尚、救えない方々への方策はどの考えを持っているか。

杉本市長の答弁

全ての要望は厳しい

デマンドタクシーは最低限の通院や買い物物の足を確保するための導入であるので、利用者全ての要望を満たすというのは財政的にも厳しい理解頂きたい。

竹村ほまれ議員の質問

運行方法

利用方法の方策は

利用者は高齢者をはじめとしているので利便性が良く、分かりやすい運行方法や登録・予約などの利用方法が求められる、方策の考えは。

杉本市長の答弁

制度利用のお手伝いを

運行説明会での周知や利用拡大に努め、工夫した分かりやすいカレンダーの配布、他、各地域に世話人を置き、予約方法など制度利用のお手伝いを考えている。

竹村ほまれ議員の質問

バス全廃が前提でなく

今後の都市機能も見据えた公共交通を考えた時、バスを全廃することが前提ではなく、公共交通の位置づけや役割、市民の不可欠な移動手段として重要な役割を、今後の駒ヶ根市を展望して反映されるよう要望します。



アルプスの眺望が豊かな東中学校

竹村ほまれ議員の質問

③ 新中学校建設

計画の再検討は

当市は県内ワーストワンの将来負担比率をはじめ厳しい財政状態だ。新中学校建設を考えたいとき、極めて深刻な財政運営が予想され、8年前に建設の方向性がだされた時期とは、財政状況以外にも防災や安全基準への意識などの他、通学環境や条件も変化してきている。

この間の変化を鑑み、新中学校建設計画を再検討のテーブルにのせる考えは。

教育長の答弁

答申を尊重していく

11年かけて出された答申を尊重していきたい。

竹村ほまれ議員の質問

第4次総合計画は

建設を前提とした懸案事項に悩まされ続けるのではなく、答申に縛られない第4次総合計画の策定をするべきではないか。

杉本市長の答弁

新中学校建設は、今後10年間の主要施策、第4次総合計画に重要なプロジェクトとして位置付けていきたい。